

# 沼津市立病院内科専門医研修プログラム (沼津市立病院)

## 1 はじめに

当プログラムは、沼津市立病院、静岡がんセンター、富士宮市立病院、静岡医療センター、伊東市民病院、裾野赤十字病院で構成されており、各病院それぞれに特色、専門性（サブスペシャリティー）を有する、首都圏とは異なる地方都市ならではの研修プログラムとなっています。

プログラム統括責任者 沼津市立病院 副院長（循環器内科部長）伊藤 浩嗣

## 2 目的

本プログラムは、静岡県東部の急性期病院である沼津市立病院を基幹施設とし、駿東田方医療圏、富士医療圏、熱海伊東医療圏の連携施設及び特別連携施設において内科専門研修を行うことにより、静岡県の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的医療を行えるようトレーニングし、静岡県全域を支える内科専門医の育成を目標とします。

また、静岡県東部の医療圏に限定せず、超高齢社会を迎えた日本を支える内科専門医として、高い倫理観を持ち、最新の標準的医療を実践し、安全な医療を心がけ、プロフェッショナリズムに基づく患者中心の医療を提供し、臓器別専門性に著しく偏ることなく、全人的な内科診療を提供すると同時に、チーム医療を円滑に運営できる研修を行います。

## 3 研修病院群

### (1) 専門研修基幹施設

沼津市立病院

### (2) 専門研修連携施設

静岡県立静岡がんセンター、富士宮市立病院、独立行政法人国立病院機構静岡医療センター、伊東市民病院

### (3) 専門研修特別連携施設

裾野赤十字病院

## 4 専攻医受入数

3名

## 5 研修期間

3年間（原則、基幹施設2年間＋連携・特別連携施設1年間）

## 6 研修計画（例）

### 1) 専門研修プログラムの概要

- ・半年ごとにわけ、専攻医の希望に沿って研修を行います（※原則、基幹施設の沼津市立病院で2年間、また、専攻医1年目の上半期は沼津市立病院で研修を行います）。
- ・専攻医1年目及び2年目の8月・2月頃に研修状況を確認し、その後の研修内容を決定します。

- ・専攻医 3 年目は症例不足領域の研修または希望領域の研修を行います。
- ・専攻医 1 人あたりの受持ち患者数は、受持ち患者の重症度などを加味して、担当指導医、Subspecialty 上級医の判断で 5～10 名程度を受持ちます。
- ・既に専攻を決めた医師まだ決めかねている医師双方に柔軟に対応できるプログラムです。

専攻医	4 月	10 月
1 年目	① 下記 2) の研修領域から 1～6 領域を選択	② 下記 2) または 3) の研修領域から ① で未研修を含めた 1～6 領域を選択
2 年目	③ 下記 2) または 3) の研修領域から ①・② で未研修を含めた 1～6 領域を選択	④ 下記 2) または 3) の研修領域から ①・②・③ で未研修を含めた 1～6 領域を選択
3 年目	⑤ 症例不足領域の研修または希望領域	⑥ 症例不足領域の研修または希望領域

## 2) 基幹施設の研修について

- ・原則、沼津市立病院で 2 年間、また、専攻医 1 年目の上半期は沼津市立病院で研修を行います。
- ・総合内科Ⅰ（一般）、総合内科Ⅱ（高齢者）、総合内科Ⅲ（腫瘍）、アレルギー、感染症の領域は、全期間を通じて研修を行います。
- ・下記の領域は最低 1 ヶ月以上の研修を行います。

研修領域	至適研修期間
消化器	1～6 ヶ月
呼吸器	1～6 ヶ月
循環器	1～6 ヶ月
内分泌・代謝	1～2 ヶ月
膠原病・神経	1～2 ヶ月
救急	1～3 ヶ月
地域医療	1～2 ヶ月

## 3) 連携施設及び特別連携施設の研修について

- ・原則、1 施設 3 ヶ月以上、合計 1 年以上の研修を行います（※●の領域は必須）。

区分	施設名	研修領域	研修年次
連携施設	静岡がんセンター	消化器、内視鏡、呼吸器、●血液、●感染症	2～3 年次
	富士宮市立病院	消化器、循環器、●腎臓	1～3 年次
	静岡医療センター	消化器、循環器、内分泌、代謝、神経、救急	1～3 年次
	伊東市民病院	消化器、呼吸器、循環器、膠原病	1～3 年次
特別連携施設	裾野赤十字病院	地域医療	3 年次

## 7 問い合わせ先

沼津市立病院 臨床研修センター（病院管理課庶務係）

〒410-0302 静岡県沼津市東椎路字春ノ木 550 番地

電話：055-924-5100 / E-mail：byoin-so@city.numazu.lg.jp